

新潟民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。

2024年9月10日（火）

発行者：宮野 大

9/9新潟市へ 新型コロナウイルス感染症の 拡大に対しての介護事業所からの緊急要請 新潟市内63介護事業所の『賛同書』も提出

9/9、新潟市に対し、『新型コロナウイルス感染症の拡大に対しての介護事業所からの緊急要請』を実施し、新潟県社保協、新潟民医連、新潟県春闘共闘会議、新潟地区春闘共闘会議の代表者ら11人が参加しました。

（現場からの切実な声）

- ・自分のいる老健では8～9月にかけて、43人の利用者のうち23人、8人の職員が感染するクラスターが発生。利用者への治療薬投与のための調剤料費の増加、診療材料費も前期比1割増、それに加えて昨今の食材費や物価高騰に伴う費用も増加している。職員では欠員による超勤増加、休日返上で疲弊、心的ストレスも増加している。今後も事業継続のために検査キットやマスクの配布、クラスター発生時の費用助成をお願いしたい。
- ・この間のクラスター発生で、当施設では検査キットやマスクの備蓄で40万円、超勤増加等も含めると全体で100万円が経費の上乗せとなった。先ほど県からは広報の説明があったが、こんな状況でも利用者家族からは面会要請も強い。市として何らかの対策をとって欲しい。クラスターが発生したら、5類になったとしてもやるべきことは、5類移行前と変わらない。
- ・検査キットやマスク配布のための予算化は考えていないと言ったが、次年度予算や今年度補正予算組みの際に、検討してもらうことはできないか。

（市からの回答） 保健管理課、介護保険課、障がい福祉課の各課長

- ・法的な位置づけが無い中、（検査キットやN95マスクの配布のための）予算化は厳しい。しかし今後の状況次第では、国の考えも方も変わることはあると思う。介護現場の大変さ、物価高騰、人材確保の難しさも理解している。市議や県議、国会議員の先生方と、一緒にやっていきたい。国への要望の機会もあるので、要望していきたい。頂いた賛同書の中にある現場からの声も読んで、できることを考えたい。苦しい声は今回に限らず、今後も聞かせてほしい。

（市への要請内容）

1. 感染拡大や高齢者施設等でのクラスター発生、医療機関のひっ迫などの状況について、県や市として積極的に発信してください
2. 高齢者施設や障がい者施設への抗原検査キット、N95マスクの配布を再開してください
3. コロナワクチンの自己負担への補助をしてください
4. 新型コロナ治療薬の自己負担への助成を行うよう、国に求めてください

<お礼>

県内1435事業所に、上記についての「お願い文書」を送り、149事業所より賛同いただきました。
頂いた声は、県・市に提出しました。



要望書の手渡し
新潟民医連の坂下事務局次長（写真左）と、新潟地区春闘共闘会議の坂井さん（写真中央）

提出した「要望書」はこちら→ <https://x.gd/ohcte>